



特集1	P 2
研修会「外国人と共に学ぶ災害時対応」	
特集2	P 3
留学生等による国際理解学習支援プログラム	
事業報告	P 4
英語による絵本の読み聞かせ会 特別編 ほか	
世界の文化	P 8
～ワークスタイル編～	
Think Global, Act Local	P 8
～県内国際団体のご紹介～	
岡山青年国際交流会	
私、岡山に住んでいます	P 9
イギリス	
ガリオニ・ジョナサンさん(写真家、映像カメラマン)	
イベントカレンダー	P 10
おかやまフェアトレードデー! ほか	

# おかやま 国際交流



Okayama Prefectural International Exchange Foundation



集合写真



講師(左から山中氏、徳原氏、中尾氏、小山氏)



試合の様子



優勝チームと講師の小山氏(左)

## 国際スポーツ交流会 ～ピンポンde交流!～

11月25日(土)



こちらのQRコードを読み取り、  
動画をご覧ください。

講師: 萩原卓球用具店 小山 裕司氏、徳原 信智氏、中尾 久志氏、山中 優介氏

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた開催機運の醸成を図るため、県民と県内在住の外国人が卓球を通じて交流をしました。卓球のレベルは様々でしたが、アメリカ、イギリス、インド、ウズベキスタン、オーストラリア、台湾、中国、日本、フィリピン、ベトナム、ミャンマーの計11か国30名の参加者が1チーム4人に分かれ、笑いあり、涙ありの白熱した試合を繰り広げました。緊張気味だったチームも試合が進むにつれて絆が強くなり、優勝を目指して最後まで全力で戦いました。

試合前には、お手本として講師による見事なラリーが披露され、参加者から歓声が沸きました。優勝、準優勝、銅賞に輝いた12名には、メダルと賞状、景品が贈られました。

# 研修会「外国人と共に学ぶ災害時対応」

## 第1回

共催：岡山県、津山市、特定非営利活動法人津山国際交流の会  
講師：津山圏域消防組合消防本部、津山市危機管理室ほか



こちらのQRコードを読み取り、  
第1回研修会の動画をご覧ください。

## 第2回

共催：岡山県、岡山ロータリークラブ  
講師：特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会理事 めいき かずよし  
明木 一悦 氏ほか

災害時の対応や外国人被災者への支援について学ぶ研修会を2回にわたり津山市と岡山市で開催しました。災害救援専門ボランティア（通訳・翻訳）登録者をはじめ、その他の外国人支援に関心のあるボランティアや企業関係者、留学生などが熱心に受講しました。



震度6の地震の模擬体験



避難所運営ゲームHUGを体験する参加者



衆楽園内迎賓館での研修風景

や津波の映像はとても強く印象に残ったようでした。

第2回は、岡山国際交流センターに47名（外国人14名）の参加者が集まり、「災害時の多言語支援に必要なこと—コミュニケーションが支える地域づくり—」というテーマで講義とグループワークを行いました。

講師の明木氏は、災害の知識や経験が少なく言葉や文化の壁のため地域で孤立しがちな外国人被災者を支援するためには、「多様性のある地域防災力をつける」「正確な情報を的確



講師の明木 一悦氏



避難所に掲示するポスターを作る参加者

外国人に分かりやすい情報の伝え方を工夫したり、多言語防災マップを準備したりするなどの取り組みを日常からしておくことが大切だと述べました。



図や多言語を使用したポスター作品群

に伝える」「つながり合っ  
て助け合う」ことが必要  
で、そのためには、近所  
付き合いなどを通じて地  
域の外国人住民と顔の  
見える関係づくりをして  
おき、外国人も含めた自  
主防災組織をつくったり、

引き続き行ったグルー  
プワークでは、災害時の  
避難所を想定して、被災  
者が取る行動や、直面  
する問題、その対策な  
どについて話し合い、  
理解を深めました。

そのほか、第1回、第2回の共通メニューとして、「岡山県の在住外国人の状況と災害救援専門ボランティア」の説明、非常食の試食、そして「避難所運営ゲームHUG」のグループワークを実施しました。

HUGは、自分たちが避難所運営本部の一員になったと仮定して、避難所に指定されている学校に避難する多数の被災者や次々に起こる出来事への対応をグループごとに話し合い、それぞれの避難者の受入場所や運営を素早く決めていくシミュレーションゲームです。参加者は、災害時の避難所に様々な問題を抱えた人々が集まることや、時間が迫る中で瞬時に物事を判断する難しさを知ったようでした。

研修会全体を通じて、参加者からは「災害時の現実を身近に感じることができた」「食料やトイレ、ペットのことなど、災害時に起こる必要不可欠な問題についてふだんから考えておきたい」「近所に住む外国人にあいさつや声掛けをしていきたい」「日頃のコミュニケーションと心構えで、ずいぶん違う結果になるのでは」「皆で協力して対応することがとても大切」などの声が寄せられました。

## 平成29年度 「留学生等による 国際理解学習支援プログラム」

このプログラムは、県内の大学に在学する留学生を小学校に講師として派遣し、子どもたちと留学生との交流を通して相互に異文化理解を図るものです。子どもたちが世界への関心を深めることや、外国語学習にさらに意欲を持って取り組むことを期待し、今年度も10校で授業を行いました。



11月29日(水) 真庭市余野小学校 給食交流

### 関連団体

岡山県教育庁義務教育課、公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会、岡山大学、岡山商科大学

### 派遣留学生(全15名)

中国3名、バングラデシュ3名、インド2名、アルゼンチン1名、ウズベキスタン1名、エジプト1名、カナダ1名、スペイン1名、パキスタン1名、ベトナム1名

### 派遣小学校(全10校)

赤磐市立山陽東小学校、備前市立伊里小学校、倉敷市立玉島小学校、和気町立佐伯小学校、新見市立思誠小学校、総社市立昭和小学校、美作町立柵原西小学校、矢掛町立三谷小学校、真庭市立余野小学校、玉野市立荘内小学校

### 活動事例



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

### 赤磐市立山陽東小学校 2年生81名 7月4日(火)

**派遣留学生** アリ・ハムディさん(エジプト)  
アリ・MD・アルシャッドさん(バングラデシュ)  
サルティニ・レアンドロさん(アルゼンチン)

#### 授業の様子

留学生がそれぞれの国について写真を使って紹介しました。子どもたちは熱心に発表を聞き、文化の違いに驚きの声があがる場面もありました。遊びの時間にはドッジボールやサッカーに留学生を招き入れ、お互いの距離がいっそう近づきました。留学生は、給食交流で当番がてきばきと配膳していく様子に驚き、また子どもたちからの合唱や折り紙のプレゼントに感激していました。昼休みには図書室へ立ち寄り、七夕の短冊を書きました。



子どもたちは折り紙でプレゼントを作りました

短冊を書きました。

### 美咲町立柵原西小学校 3年生17名 10月5日(木)

**派遣留学生** イスラム・MD・モニロルさん(バングラデシュ)  
孫 爽さん(中国)

#### 授業の様子

留学生は自国の食事や名所、動物などについて紹介し、子どもたちは様々なジャンルの日本文化について留学生に伝わるように気をつけながら発表しました。留学生からは「子どもたちの心遣いを深く感じた」「子どもたちはとても賢く、好奇心旺盛だった。もっと世界について教えてあげたい」といった感想が聞くことができました。子どもたちはエイサーとうらじゃの演舞も披露し、感激する留学生の姿が見られました。



子どもたちの日本文化紹介

### 倉敷市立玉島小学校 6年生67名 7月10日(月)

**派遣留学生** 孫 爽さん(中国)  
フェレー・ブジョル・ピラーさん(スペイン)

#### 授業の様子

子どもたちが司会進行し、孫さんは中国の春節について、フェレーさんはスペインの言葉や食べ物について紹介しました。英語での質問タイムでは子どもたちの外国語学習への真剣な姿勢が見られました。地域について知ってもらう玉島紹介では子どもたちが様々なテーマを発表しました。



英語を使ったゲームを楽しむ様子

英語を使ったゲームや中国のゲームを楽しんだ後は、給食を食べました。お互いの文化についてよく知る素晴らしい交流となりました。

### 矢掛町立三谷小学校 3,4,5,6年生52名 11月22日(水)

**派遣留学生** アブドゥラエフ・ウルグベクさん(ウズベキスタン)  
アリ・ハムディさん(エジプト)  
コラダ・ヴェンカタ・アビナヴさん(インド)

#### 授業の様子

子どもたちは留学生の自国紹介を熱心に聞き、英語の聞き取りも試みていました。各国の遊びや宿題について質問するなど、外国の子どもたちの暮らしを具体的に想像する場面もあり、外国への意識の高さがうかがえました。留学生は質問に回答するときやあいさつ



質問タイム

をするとき、常に子どもたちに勉強や暮らしについてアドバイスを心がけ、子どもたちの将来を応援する姿勢が伝わってきました。

## 英語による絵本の読み聞かせ会 特別編

11月5日(日)

講師：アブドゥラエフ・ウルベク氏（ウズベキスタン出身）、岸本 ロベル氏（フィリピン出身）、  
デブナス・スモン氏（バングラデシュ出身）、フォヌア・モーゼス氏（オーストラリア出身）、  
井場 俊栄氏、谷口 広子氏



こちらのQRコードを  
読み取り、動画を  
ご覧ください。

最初の絵本は『GO AWAY, BIG GREEN MONSTER!』でした。岸本氏が英語、井場氏が日本語で1文ごと交互に読み聞かせました。両氏の迫力満点の声や表情と、絵本の中でどんどん変化してゆくモンスターに、子どもたちはくぎづけで、「ちょっと怖いけど、おもしろい」とつぶやいた子もいました。



岸本氏(左)、井場氏(右)による読み聞かせ

2冊目は次々巻き起こるハプニングを物ともしないマイペースな子豚が主人公の物語『Suddenly!』。英語はモーゼス氏が、日本語は谷口氏が担当しました。リズムよく軽快な語り口に会場は楽しい雰囲気になりました。



モーゼス氏(左)、谷口氏(右)による読み聞かせ

何度も繰り返される単語「Suddenly」は、後半では子どもたちも一緒に発音していました。

6人の講師がずらりと子どもたちの前に並ぶと、流れてきた音楽はエリック・カール著の絵本『From Head to Toe』を題材とした曲。次々と現れる動物たちからの「これできる?」という問いかけに、講師と子どもたち、そして保護者の方々は体をいっぱい使ったダンスで挑戦しました。体を動かすほど笑顔があふれ、楽しい雰囲気が会場を包みました。

続く交流会では講師と参加者らが会話を楽しみながら、アブドゥラエフ氏によるウズベキスタンの紹介、デブナス氏によるバングラデシュの紹介を英語で聞きました。人々のふだんの暮らしや特別な行事の様子など美しい画像も次々と紹介されました。

最後にモーゼス氏の指導でオーストラリア版『だるまさんがころんだ』をしました。子どもたちはすぐにルールを理解し、簡単な英語を使いながら遊びました。



アブドゥラエフ氏(左)とデブナス氏(右)

39名の参加者にとって、楽しみながら英語や他の国の文化に触れる読み聞かせ会となりました。

## 日本語ボランティアスキルアップ研修会

11月18日(土)

講師：明海大学外国語学部日本語学科 准教授 西川 寛之氏

県内の日本語指導者を対象に「日本語の『文法』を理解するための研修」と題して開催し25名が参加しました。

講師が日本語教育に専念しようと思ったきっかけや、日本語指導は日本人に教えることとは違い、違う視点を持たないと気付けないことが多いこと、日本語の「文法」にはルール（客観的な規則）があり、習得速度を速めるために学習者にそれを教えること、そして自分の話を聞いてもらい、受けとめてもらうには、人を説得し、動かすための3つの要素「エトス（信頼）、パトス（情熱）、ロゴス（理論）」が大切であることを教わりました。

また、講師は短い期間で日本語をマスターする方法や、日本語ゼロのレベルから始めて3か月で日本語能力試験で最も難しいN1に合格する方法として、実習ができる環境をつくること、日本語のルールを教えること、ノンネイティブの日本語支援者を増やすこと、学習者の目的に合わせた学習内

容を準備して学習時間を短く効率よく教えることを常に考えていると話しました。

日本国内の学習者を支えている日本語教師の約6割がボランティアであり、日本語教室の存在はとても必要であることが分かりました。

この研修会で、文法のルールを教えることの重要性が分かったと多くの参加者から感想がありました。



研修会の様子

## 「岡山のCOOL 発見!」第2回

岡山のCOOL発見の旅 Part2 ～歴史と文化の城下町・津山めぐり～

11月19日(日)

共催：一般社団法人大学女性協会岡山支部

出演：クォン・チュンハさん（韓国出身）、クツ・ボビーさん（アメリカ出身）、  
杉本 ジャシアーナさん（ブラジル出身）、ラック・サナさん（カンボジア出身）

司会：沖垣 達さん（医学研究者）、角田 みどりさん（中国短期大学教授）



こちらのQRコードを  
読み取り、動画を  
ご覧ください。

出演外国人の皆さんが、かつて城下町として栄えた津山市を訪ねて発見したCOOLについて話し合いました。

クツさんはカメラマンならではの視点から「津山城にはおもしろい形や色があふれ、私にとって遊園地のようにであった」と細部に注目する大切さを説きました。ラックさんとクォンさんは母国にはない文化に注目して、津山名物「ホルモンうどん」などのおいしさや、衆楽園、城東の街並みの美しさをCOOLと語り、杉本さんは、津山城のあんどんや城東むかし町屋にあった消火ポンプ、井戸など、昔の人により考え抜かれた技術がCOOLと語りました。

ゲストには、旅に同行していただいた近藤 英生さん(NPO法人津山国際交流の会)と庄司 彩さん(津山市観光振興課)が津山市から駆けつけ、延べ75名の参加者からも意見

を募りながら、ともに津山の魅力や今後のまちづくりへの期待について意見交換をしました。



会場の様子

## 海外マガジンと書籍の無料配布

11月20日(月)～11月25日(土)

岡山国際交流センター4階図書資料室において開催しました。

平成27年度に購入した海外マガジン(Time、National Geographic、Newton、読者、人民中国など)と不要になった書籍を岡山市、津山市、瀬戸内市、赤磐市など県内各地、延べ43人の方に303冊をお譲りしました。平成22年度

に当協会20周年事業の一環として実施したイベントでしたが、好評を得、今回で8回目を迎え定着したイベントとなりました。

これらの海外マガジンや書籍が語学学習や国際的視野を広めること、国際感覚を養うなどの一助となってくれること、また今後の国際交流・国際貢献などの参加に繋がっていくことを願っています。

## 地球市民講座 第3回

「人権とは? 2つの祖国の間に見つけた地球人として生きる道」

12月8日(金)

講師：ミュージシャン／一般社団法人 Enije 代表 矢野 デイビット氏



講師の矢野デイビット氏

の勇気をもって助けたり応援してくれたりする人がたくさんいた。彼らの存在は、一人ひとりを尊重する眼差しこそが大

ミュージシャンでありガーナの自立支援に取り組むEnijeの代表を務める矢野デイビット氏を迎え、人権とはどのようなものかを学ぶ講座を開催しました。矢野氏はガーナと日本という2つの祖国を持ち、どちらの国にいてもよそ者扱いされてしまう、というつらい状況を経験しましたが「つくづく当たる人、無関心な人がいる一方で、僕のそばには少し

切なんだ、と僕に気づかせてくれた」と矢野氏。講演テーマに含まれた「地球人」という言葉には、互いの違いを認め尊重し合おうという矢野氏の思いが込められていることが会場全体に伝わりました。

34名の参加者からは「人生の様々な困難から大切なことを見出した姿に感動した」との感想や、「自分も勇気をもってそれぞれの人を尊重したい」といった決意の声も寄せられました。



ガーナでの交流の様子を語る矢野氏

## フェアトレード トークセッション&交流会

12月9日(土)

共 催：岡山フェアトレードの会

事例発表：金沢大学フェアトレードサークルKuLOS 鴨島 舞氏、高知大学国際協力団体すきっぴ 川村 瞳氏、岡山県立玉島商業高等学校 課題研究グローバル人材育成講座 河口 咲希氏、坪川 琳香氏、山田 千春氏

話題提供：岡山フェアトレードの会 滝本 優氏

フェアトレードの活動を熱心に行っている大学生、高校生による活動事例の発表と、参加者相互に意見交換を行う交流会を開催しました。

鴨島氏は、KuLOSの勉強会や県民フェスタなどへの出店、映画「バレンタイン〜掬」を参考にしたフェアトレードチョコレート販売の取り組みなどを発表しました。川村氏は、香川県のNGOとの連携によるコーヒーの試飲販売や、タイ・ラオスへのスタディツアー、地元の高中生と協働して実施した認知度調査などを報告しました。玉島商業高校の河口氏ら3名は、平成29年2月に参加したフィリピンへのスタディツアーや、現地 で知ったストリートチルドレンを支援するために始め

たフェアトレードの活動などについて発表しました。

また、滝本氏は、フェアトレードタウンの英国エクセター市では年間を通じて様々なキャンペーンが行われ、決して特別なことではなく当たり前のこととして市民に受け入れられていること、街のあちこちで気軽に商品を買えることなどを紹介しました。

意見交換会では、49名の参加者がフェアトレードを身近にするための方策についてグループで話し合いました。会場からは「他の人に勧めるためには、まず自分自身がフェアトレードのことを知らなければ」「いつもフェアトレードの品物を持ち歩き、周囲の人に魅力を知ってもらう」などの意見が出されました。



意見交換会



全員で記念写真

## 留学生と県民との交流会 特別編

12月10日(日)

講師：ストライツ・クリスティーナさん (アメリカ)、ヤマシタ・ミッチ・ケンジさん (アメリカ)、アブドゥラエフ・ウルグベクさん (ウズベキスタン)、リー・チャン・ソンさん (韓国)、サハ・モウスマンさん (バングラデシュ)、デブナス・スモン・クマールさん (バングラデシュ)、メフメッド・マノワルさん (バングラデシュ)、クリソロゴ・ドーンさん (フィリピン)、グエン・ダン・クワイさん (ベトナム)、テン・ホン・ヒューさん (ベトナム)、レ・ヌ・アン・トゥさん (ベトナム)、ス・サンディ・ウイントさん (ミャンマー)



交流タイムではス・サンディさんが天然化粧を紹介

多文化交流を目的とし、岡山大学の留学生と県民60名との交流会を開催しました。まずはバングラデシュのサハさん、デブナスさん、メフメッドさん3

名が民族衣装や食べ物、有名な場所などについて紹介しました。次にアメリカのストライツさんが文化について、ヤマシタさんが日系アメリカ人の歴史を祝う「2世ウィーク」について話しました。

グループ交流では、各テーブルで留学生を囲み、日本での暮らしや行きたい場所などの話が飛び交いました。また、ミャンマーのス・サンディさんは「タナカ」と呼ばれる、樹木を原料とした天然化粧を紹介し、参加者のほほに施しました。

後半の自国紹介ではス・サンディさんがミャンマーの言語や各地域の特色、民族衣装、伝統的な楽器などを紹介。ベトナムからはテンさんが民族衣装について、レさんがベトナムコーヒーについて、そしてグエンさんは観光ツアー形式でおす

すめの名所や食事のルートを紹介しました。フィリピンのクリソロゴさんは冬の催し物や、この季節ならではの食べ物や過ごし方について詳しく伝え、参加者からは驚きの声があがり、拍手も沸きました。

午後の交流会ではフリートークを楽しみました。子どもと遊ぶ留学生の姿もあり、言語の壁を越えて交流する様子が多く見られました。自国紹介として、韓国のリーさんが名所や有名な食べ物や音楽について発表しました。アブドゥラエフさんはウズベキスタンの歴史やシルクロード、世界遺産の古都や建造物、アジアと欧州の中間に位置する国ならではの食文化などを伝え、日本との繋がりを紹介し締めくくりました。

最後のクイズ大会では、留学生が自国にまつわるクイズを1問ずつ出題し、意外な答えに驚く場面もありました。各国についてまだまだ知らないことが多く、文化の奥深さを再認識しました。



クイズを出題する様子

# 多文化共生コミュニケーションサポーター研修会

1月12日(金)、13日(土)

講師：第1回 公益財団法人兵庫県国際交流協会 スペイン語通訳相談員 村松 紀子氏  
第2回・第3回 国際医療福祉大学医学部 准教授 <sup>おしみ</sup>押味 貴之氏



こちらのQRコードを  
読み取り、動画を  
ご覧ください。

医療機関、学校、行政機関窓口等で外国人と日本人のコミュニケーションを通訳ボランティアとしてサポートする「多文化共生コミュニケーションサポーター」。その登録者と新規登録希望者、延べ38名の参加者のもと研修会を実施しました。

第1回は村松氏から「コミュニティ通訳編～言葉で在日外国人をお手伝い～知っておきたい通訳の基礎」として、コミュニティ通訳が身に付けておくべき倫理観や行動指針について学びました。「何も足さない、引かない、変えない」



第1回講師の村松氏

という通訳が必ず守るべき原則を確認したあと、様々な事例の対処法についてグループワークで考えました。初めて参加した通訳登録希望者は「通訳がやるべきこと、やってはいけないことが明確にわかった。学んでみて、コミュニティ通訳に挑戦したいと思った」と意欲を示しました。

第2回と第3回は、押味氏による「医療通訳基礎編」「医療通訳スキルアップ編」を実施。「語い、表現、医療知

識など、医療通訳には多くの事前準備が必要」と押味氏は医師としての経験を生かし、的確で効率の良い準備方法を受講生に伝えました。例えば、診察中に医師がする可能性が高い質問を「現病歴」「リスクファクター」「社会歴」にグループ分けして、わかりやすく整理した表に沿って用語集を作成することなどです。受講生からは「たくさんの有益情報が得られてうれしい」との感想が寄せられました。



第2、3回講師の押味氏



グループワークの様子

「苦労の多さからくじけそうになることもあると思いますが、ともに日本で暮らす外国人の皆さんのために、よりよい医療通訳ができるよう前進しましょう」と押味氏から力強い励ましの言葉がかけられ、研修会は終了しました。

## 日本文化体験・交流会

1月21日(日)

講師：書道 石井 昌子氏、折り紙 難波 稔明氏

在住外国人と日本人参加者が42名集い、書道・折り紙・日本の伝統の遊びの体験をしました。

書道では石井 昌子氏の指導のもと、書きたい文字を練習し、清書した作品は色画用紙に貼り、飾れるようにしました。初めて書道に触れる参加者も多く「前からやりたかったので実現できてうれ



参加者同士で教え合いました

しい」という声がありました。外国人参加者の中には、文字を「夢」に絞り、納得のいく字を目指して先生に指導を受ける様子や、「バイト先のレストランにいつもお客さんがたくさん来てくれてうれしいので、感謝の気持ちを表したかった」と、難しい「感謝」という文字に挑戦する様子が見られました。

折り紙では、難波 稔明氏がレベルに合わせた題材を豊富に紹介し、初めて挑戦する参加者から上級者まで幅広い作品を作りました。参加者同士で協力して完成させる場面もあり「言葉が通じなくても教え合いができた」という感想が聞けました。

伝統的な遊びではカルタや坊主めくり、ケン玉、お手玉などに挑戦しました。世代や国籍、言語を越えた交流が自然に行われ、大家族のようなほほえましい光景が見られました。



折り紙の様子

午後の交流会ではフリートークでさらに交流を深め、午前の書道でできあがった作品を紹介し、文字を選んだ理由や感想を発表しました。参加者の思いがこもった華やかな作品がたくさん披露されました。それぞれの体験を通し、日本文化に触れるだけでなく、参加者同士が交流を深めることができました。



思いのこもった作品

それぞれ国によって、働き方にも違いがあるようです。  
今回は、カナダと中国のワークスタイルをのぞいてみましょう。

### カナダ



スチュワート・コーリー・アールさん  
(バンクーバー出身)  
英語講師、滞在歴:4年

カナダでは、中年以降でも学校に行き直して資格を取り、転職してキャリアアップをする人たちが大勢います。企業も性別や年齢ではなく、資格やキャリアを重視するので、日本よりも平等にチャンスがあると思います。

給料の交渉も一般的で、昇給に値すると思えば自ら上司に交渉します。同じ職場でも、労働条件は個人の能力や努力次第で変えていけるのがカナダです。日本に比べ、雇い主と雇われる立場の人がより同等な関係にあり、誰もが正しく評価されるべきとの考えがあるので、サービス残業などの発想はありません。

年間のまとまった有給休暇は2～5週間近くあり、消化しなければ上司の責任になることもあるので、きちんと休むよう、催促されることもしばしば。日本でよくある飲み会や社員旅行といった、勤務時間以外の行事などもほとんどなく、仕事とプライベートはしっかり分けて考えるのがカナダ流です。



工作中的スチュワートさん

### 中国



ヤオ シャオゼン  
姚 紹瓊さん  
オンシ トウチャゾクミョウソクジ チシヨウ  
(恩施土家族苗族自治州出身)  
岡山県中国交流推進員、滞在歴:10年

中国のワークスタイルは一言では言い切れませんが、故郷で公務員をしている同級生の例を挙げます。

まず、出勤時間が9時なら、ほとんどの職員は9時に職場に到着します。昼休みは12時から2時までで、昼食後、昼寝をしてから午後の仕事を始めます。5時になったら、残業なしで帰宅します。自分自身と家族のために時間を使う方が、残業する時間よりも数百倍大事だと考えるからです。無報酬の残業はほとんどありません。

仕事に個人の携帯電話の使用を制限されることはほとんどありません。職場でおしゃべりをするのも普通です。何かあれば、メールよりも、電話をするか、直接声をかけることが多いです。報告もSMS(ショートメッセージサービス)か電話一本で終了です。報告書や長文メールもあまり作成しません。

また、公務員でも副業が認められています。同級生も公務員をしながら花屋の社長を務めています。



同級生の働く市役所



## 岡山青年国際交流会



### 団体概要

内閣府青年国際交流事業と岡山県海外派遣事業のOB・OG、国際交流に関心のある10代～70代までの人で構成された国際ボランティア団体です。全国に1万5千人以上の会員をもつ日本青年国際交流機構(IYEO)の岡山支部としての役割も果たし、世界数か国にある同窓会組織とグローバルなネットワークをもっています。

会長 長木 愛  
事務局 〒700-8570  
岡山県岡山市北区内山下2-4-6  
岡山県県民生活部男女共同参画青少年課内  
フェイスブック <https://www.facebook.com/IYEO/>  
メールアドレス okayamaiyeo@hotmail.co.jp



### 活動紹介

毎年、会員や非会員で実行委員会を立ち上げ、国際交流プログラムを、コンセプトを含め企画・準備し、当日の運営を行います。このプログラムは、海外からの招へい青年と岡山の青年の交流、学校訪問、企業訪問、ディスカッション、ホームステイなどがあります。また5年に一度国際交流を考える大会を開いたり、毎年3月ごろ内閣府青年国際交流事業の参加報告や次年度の募集説明をしたりし、グローバルな視野を広げたい青年のはじめの一步をサポートします。



東南アジアの青年と持続可能なまちづくりについてディスカッション



# 「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

体に固定したカメラでブレの少ない安定した映像を撮るステディカムを操り、映画やテレビのカメラマンとして活躍するガリオニさんに、日本との出会いや、岡山での写真家としての活動についてお話を聞きました。



西大寺会場での撮影

## 一イギリスでは映画やテレビの映像カメラマンとして活躍

子どもの頃からの夢は映画監督になること。大学で専門的に映像について学びながら、アイスホッケー中継のカメラマンとしてこの世界に飛び込みました。その後、16mm映画のカメラマンとして働いていたとき制作した映画が、人とのつながりを作りこの世界のおもしろさを教えてくれました。私のキャリアの原点になっていますね。卒業後、ステディカムと出会い、複雑でおもしろい撮影操作にどんどん引き込まれていきました。

## 一日本に来るなんて考えたことがなかった

12時間の撮影のあと、仮眠を取って次の現場へ運転して移動、さらに撮影という日々を送り、燃え尽きてしまいました。この業界から少し離れて休憩したいという気持ちに駆られていた時、8か月期間限定での英語講師の仕事を岡山で見つけたのです。ヨーロッパやアジア各地に撮影で訪れたことはありましたが、まさか日本に住むなんて考えたこともありませんでした。


## 一故郷と岡山の共通点

私の故郷は、イギリス人でもどこにあるか知らないような町。いつも「マンチェスターとバーミンガムの間にある」と説明します。岡山の人も「岡山は広島と大阪の間にある」とよく言いますよね。私の故郷は、規模や知名度が似ているだけでなく、岡山に備前焼があるように、陶器生産地としても有名です。東京やロンドンで店員に話しかけると変にみられることがあります。

## 岡山でリアルを求める

写真家、映像カメラマン



ガリオニ・  
ジョナサンさん

Galione Jonathan  
イギリス  
ストーク・オン・トレント出身

すが、岡山や故郷だと、コンビニなどで会計を待つ間、「今日は寒いですね」などちょっとした会話をします。街全体の雰囲気がとても似ていて居心地が良い住みやすい町です。

## 一写真家としての活動での苦勞

日本人を撮影するのは本当に難しいですね。アメリカで「ゲッティイメージズ(※)の撮影です」と一言伝えれば「すごい!もちろんOK」となりますが、日本ではそうはいきません。モデルを探すのに100人に声をかけて、5人集まるという状況です。撮られることを不安に思われるので、時間をかけた丁寧な説明が大事です。撮影したものを見せると徐々に心を許してくれます。

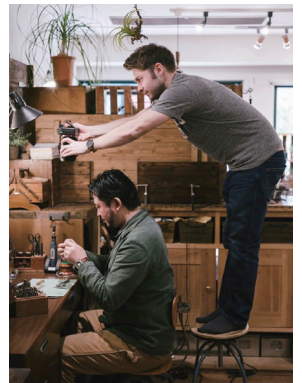
※写真販売会社

## 一撮影の楽しみとこれから

人を撮るのが何よりの楽しみです。時計職人、農家の方、ヴァイオリン職人など働く人を撮影すると、その人や文化、伝統やその世界のことを学ぶことができます。話に夢中になり、後から「なんでもっと写真を撮らなかつたんだ」と思うことはよくあります。

これからたくさん世の中に写真を発表したいと思います。外国人旅行者にもっと快適に旅をしてもらうために、岡山の観光地やレストラン、イベントなどを多言語で紹介するウェブサイトの立ち上げ準備もしています。

私は、興味やチャンスがあることは何でも挑戦してきました。いつも心に留めている「Go with the flow(川の流れるに乗る)」「Don't be fixed, Be flexible(目標にまっすぐ進むのではなく、柔軟に)」の気持ちを持ち続け、いろいろなことに挑戦していきたいです。



時計職人の撮影風景



働く人々(ガリオニさん撮影)

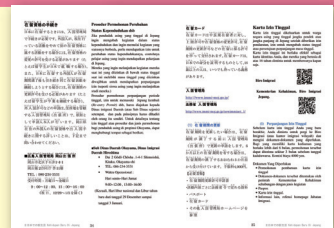
## 「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」最新版掲載

平成21年に発行した「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」スペイン語・インドネシア語版の情報を更新し、岡山県国際交流協会ホームページに掲載しました。

在住外国人が安全で快適な生活を送るために、「外国語対応ができる病院」「日本の教育制度」「地域の日本語教室」などの情報を簡潔にまとめ、QRコードも掲載し検索しやすくなりました。全7言語、情報を随時更新していますので、ご活用ください。

### 掲載言語

英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、  
ベトナム語、スペイン語、インドネシア語(日本語併記)



インドネシア語「在留資格の手続き」

平成30年3月30日(金)

岡山県国際交流協会ホームページリニューアル!  
Facebookに続き、Twitterでも情報発信スタート!

## 日本語講座

講座を希望する方は、岡山国際交流センター1階、情報相談コーナーでお申し込みください。

- とき 火曜日 10:00~11:40 / 18:30~20:10  
水曜日 10:00~11:40 / 18:30~20:10  
木曜日 10:00~11:40  
金曜日 10:00~11:40  
土曜日 15:10~16:50
- ところ 岡山国際交流センター 6F 会議室
- 受講料 無料(ただし、ジャパニーズクラス会員(会費2,000円)に入会が必要です。)
- 定員 入門~中級、各曜日25名
- その他 1人2講座まで。

## 韓国語講座

韓国の生活・文化全般への理解を深める講座です。9月に韓国語文化講座・交流会(1回)を実施予定です。

- とき 入門 第2・4土曜日 19:20~20:30  
初級 第2・4金曜日 19:20~20:30  
会話 第1・3金曜日 19:20~20:30
- ところ 岡山国際交流センター 4F 図書資料室
- 対象 入門:韓国語を初めて学習する方  
初級:韓国語の文字を覚えている方、入門を終えた方  
会話:簡単な文法を覚えて自分の感情などが話せる方
- 受講料 8,000円(協会会員)、10,000円(一般)(全20回、テキスト代別)
- 定員 各25名 ●申込み 企画情報課(4月9日(月)受付開始)

## インドネシア語講座

インドネシア語は世界で最もやさしい言語の一つといわれ、初心者でも安心して受講できます。

- とき 初級、中級:土曜日 13:00~14:45
- ところ 岡山国際交流センター 6F 会議室等
- 講師 県内在住インドネシア出身留学生
- 受講料 15,000円(1年間、テキスト代別)
- 定員 初級、中級 各25名
- 共催 岡山インドネシア友好協会
- 申込み 岡山インドネシア友好協会 谷本氏  
TEL:086-277-0329

## 中国語講座

講師はとて親しみやすく、学習目的に合わせた楽しい授業です。中華料理体験も行っています。

- とき 入門:土曜日 17:40~19:10  
初級:土曜日 19:20~20:50  
中級:日曜日 17:00~18:30  
上級A:土曜日 10:00~11:30  
上級B:日曜日 10:00~11:30
- ところ 岡山国際交流センター 6F 会議室
- 講師 県内在住中国出身留学生
- 受講料 高校生以下 13,000円、協会会員 15,000円  
一般 18,000円(6か月間、テキスト代別)
- 定員 各16名 ●共催 岡山県華僑華人総会
- 申込み 岡山県華僑華人総会事務局  
TEL:086-201-1076(9:30~18:30)

## EVENT CALENDAR

# イベントカレンダー

※都合により、内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



5月

### 26日(土) おかやまフェアトレードデー!

フェアトレードの講演会や資料・商品の展示等を行います。詳細は4月中旬に発表予定です。皆様ふるってご参加ください。

- とき 平成30年5月26日(土)
- ところ 岡山国際交流センター 8F イベントホール ほか
- 参加費 無料
- 共催 JICA中国(申請予定)  
岡山発国際貢献推進協議会(申請予定)  
岡山フェアトレードの会
- 問合せ 企画情報課(4月26日(木)受付開始)

6月

### 10日(日) 英語による絵本の読み聞かせ会①

県内在住の外国人講師が英語で絵本の読み聞かせをします。絵本のあとは講師の母国の話を聞きます。

- とき 平成30年6月10日(日)
- ところ 岡山国際交流センター 4F 図書資料室
- 講師 県内在住外国人
- 参加費 無料
- 対象 県内在住の子ども(3歳~小学6年生)とその保護者等
- 定員 なし ●申込み 不要
- 問合せ 企画情報課

## 会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円  
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)  
E-mail:kokusai@opief.or.jp



問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会  
企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~18:00)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: [https://twitter.com/opief\\_okayama](https://twitter.com/opief_okayama)

E-mail: kokusai@opief.or.jp